

ご挨拶

本日、三重大学工学部に合格された皆さんに心からお祝い申し上げます。また、これまで愛情をもって皆さんを育ててこられましたご両親ならびご家族の皆様に対しても、心からお喜び申し上げます。入学式を迎えた皆さんは、入学試験という厳しい道のりを乗り越え、数多くの志願者の中から選ばれて三重大学工学部に入学されました。本日を迎えるまでの皆さんの努力に対して心より敬意を表したいと思います。また、様々な希望と期待をもって本学部を選択し入学された皆さんを、本日ここにお迎えすることができたことに大きな喜びを感じています。同時に、4年後に皆さんの選択が決して間違っていたことを実感して頂けることを私たち教職員は心から願い、またそのために最大限の支援をしていきたいと考えています。

三重大学は、伊勢湾に面したキャンパスに人文学部、教育学部、医学部、生物資源学部と、工学部の5学部が全て集合しており、文科系と理科系の学部の枠や学年の枠を超えて卒業まで一緒に学ぶことができる全国でも稀な文理融合型の総合大学として知られています。工学部は、三重大学の歴史の中では新しく1969年に機械工学科と電気工学科の2学科でスタートしました。現在では、総合工学科の一学科が機械工学、電気電子工学、電子情報工学、応用化学、建築学、情報工学の6コースから構成され、社会や産業界から要請される工学分野のほとんどをカバーする学部として今日まで発展してきています。さらに、これらの分野における研究成果に基づいた教育・研究に加えて、三重県内はもとより国内外の多くの企業、研究機関、海外協定大学等との間で最先端の研究連携を深めることで、多くの高度専門技術者の人材育成を行っています。これまでに工学部から社会に巣立った卒業生は、18,000名を超えており、国内外の場で広く活躍されています。

この4月から新しい大学生活が始まりますが、皆さんは期待と同時に大学生活への不安もお持ちかと思います。大学生活では、これまでの高校生活のように定まったレールの上を走るのではなく、授業科目の選択から学外の活動に至るまで、基本的には全て自らの意思と判断で行動することが求められます。また、多くの時間を自分の意思で使うこともできます。これだけ聞くと、皆さんは「自由に楽しい大学生活を過ごすことができる」と考えるかもしれません。しかし、これから4年間の大学生活は、社会に出てからの長い人生を大きく左右する重要な期間であることも認識して下さい。皆さんには、多くの時間を自分の意思で活用することができるという大学生としての特権をもつと同時に、大学生活を通じて人間的に大きく成長しなければならないという社会的責務も併せもっていることを自覚していただきたいと思います。大学は、大学生の本分である専門知識を習得し社会に貢献できる資質を養う場であると同時に、あらゆることに失敗を恐れずに挑戦し人間的に大きく成長することができる場もあります。学修はもとよりスポーツ、読書、趣味、課外活動、友人との交流などを通じて、何か一つでも自慢の出来るもの、誇ることができるものを獲得していくだければと考えています。大学生活で修得した全てのことが、社会に出てからの長い人生における礎となります。大学での4年間は長いようで、あっと言う間に過ぎてしまいます。上記のことにも留意されて、皆さんが悔いのない有意義な学生生活を送られることを願っています。

三重大学での学生生活が、皆さんにとって輝かしい青春時代の記憶に残る1ページとなりますことを心から祈念いたします。

令和8年1月
三重大学工学部長
森 香津夫